

**北海道医療計画[改訂版]
上川北部地域推進方針（別冊）
上川北部区域地域医療構想**

平成28年3月

上川北部地域医療構想区域

も く じ

第1節	基本的事項	-----	1
1	趣 旨		
2	構想区域		
3	名 称		
4	期 間		
5	進行管理		
第2節	地 勢	-----	3
1	地理的状況や特殊性		
2	交通機関・生活圏		
第3節	人口の推移	-----	6
1	人口の推移		
2	世帯数		
3	北海道人口ビジョン		
第4節	患者及び病院等の状況	-----	13
1	患者の受療動向		
2	地域別病床数の指標		
3	病院の病床利用率		
4	病院の平均在院日数		
5	医療施設の状況		
6	病床機能報告制度の結果		
7	医療従事者の状況		
8	介護サービスの状況		
第5節	5疾病・5事業の状況	-----	28
1	5疾病・5事業の圏域及び在宅医療の現状		
2	指定医療機関等の状況		

第6節	医療需要及び必要とされる病床数の推計	-----	39
1	医療需要		
2	必要とされる病床の必要量の推計		
3	在宅医療等に関する医療需要の推計		
第7節	将来のあるべき医療提供体制を実現するための施策の検討	-----	43
1	病床機能の分化及び連携の推進		
2	在宅医療の充実		
3	医療従事者の確保・養成		
第8節	地域医療構想策定後の取組	-----	49
1	構想策定後の実現に向けた取組		
2	北海道知事による対応		
3	地域医療構想の実現に向けたPDCA		
4	住民への公表		
第9節	資料（データ等）	-----	53
1	検討経緯		
2	上川北部圏域地域医療構想調整会議設置要領、委員名簿		
3	資料編		

第1節 基本的事項

1 趣 旨

2025年（平成37年）にいわゆる「団塊の世代」が全て75歳以上となる中、医療や介護が必要な状態になっても、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続できるような、切れ目のない医療及び介護の提供体制を構築するため、平成26年6月に「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」が成立しました。

この一括法では、効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するとともに、地域包括ケアシステムを構築することを通じ、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するため、医療法の中で医療計画の一部として「地域医療構想」が位置付けられました。

今後の高齢化の進展を踏まえると、医療のあり方は、主に青年壮年期の患者を対象とした救命・救急、治療、社会復帰を前提とした「病院完結型」の医療から、「慢性疾患が多い」「複数の疾病を抱えることが多い」等の高齢者の特徴に合わせて、病気と共存しながら生活の質の維持・向上を目指す医療、患者の住み慣れた地域や自宅での生活のための医療、地域で支える「地域完結型」の医療に重点を移していく必要があります。

地域医療構想は、このような医療のあり方の変化や人口構造の変化に対応したバランスのとれた医療提供体制を構築することを目指すものであり、① 強制的な手段ではなく、目指す姿を可視化・共有したうえで、自主的な取組や関係者による協議を通じて構想の達成を目指すこと、② 飛躍的に増加している活用可能なデータを用いて、客観的なデータに基づく議論を行うこと、③ 地域ごとの人口構造の差や地域資源の違いに対応するため、地域ごとに目指す姿を設定すること、といった手法を用いるものであります。

このような取組を通じてバランスのとれた医療提供体制とすることは、① 患者の方々が、適切なリハビリを受けることや長期療養に適した環境で入院することなど、その状態に合ったケアが受けられるようになる、② 病床機能に応じた医療従事者配置とすることにより、限られた医療人材を有効活用することができる、③ 適切な機能の病床への入院により、入院費用を適正化することができる、などの効果が期待でき、ひいては地域医療の確保につながるものであります。

このような構想の考え方を踏まえつつ、平成27年3月に国から示された「地域医療構想策定ガイドライン」等を参考にしながら、平成27年7月の「北海道地域医療構想策定方針」に基づき、「上川北部区域地域医療構想」を取りまとめるものです。

2 構想区域

医療法に基づく「第二次医療圏」及び介護保険法に基づく「高齢者保健福祉圏域」と同じ区域とし、区域名は「上川北部構想区域」とします。

3 名 称

「北海道医療計画〔改定版〕上川北部地域推進方針」（以下「推進方針」という。）別冊、上川北部区域地域医療構想とします。

4 期 間

この構想は、「推進方針」の一部として策定することから、「推進方針」の期間と同様に平成29年度までとします。

なお、地域医療構想は、2025年における医療需要の推計とともに国から示された病床利用率に基づき、必要とされる病床数を推計し、それを達成するための施策等について取りまとめるものです。

5 進行管理

この構想は、住民・患者の視点に立ち、道や市町村などの行政機関、医療提供者、関係団体及び住民が、地域の最も重要な社会基盤の一つである医療提供体制の確保に向け、毎年度、上川北部区域地域医療構想調整会議において、直近の病床機能報告制度における報告内容などとの比較や検証を実施していきます。

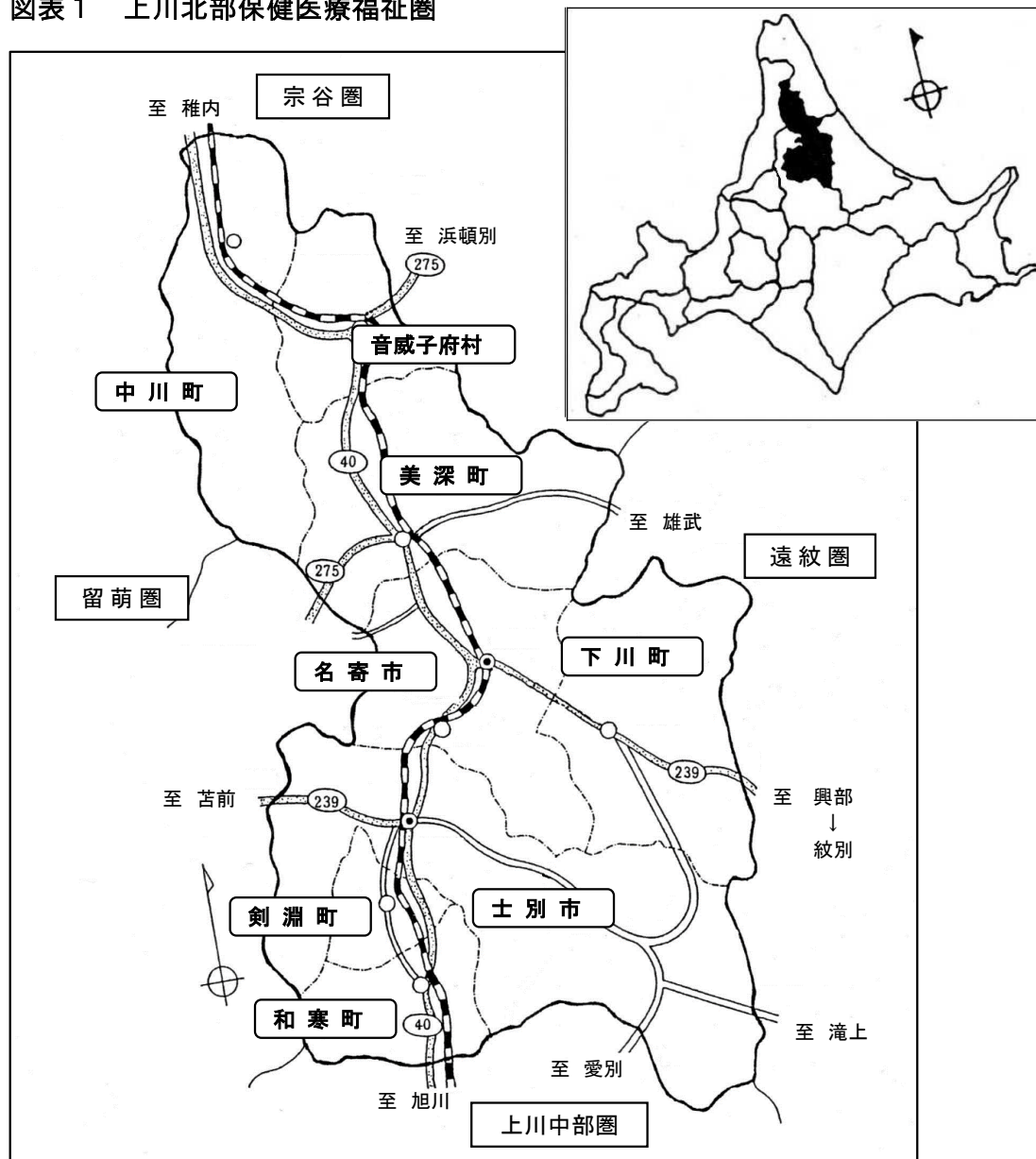
第2節 地 勢

1 地理的状況や特殊性

上川北部区域は、上川総合振興局管内の最北部に位置しており、広さは東西に55キロメートル、南北に140キロメートルにおよび、面積が4,197.55平方キロメートルと全道の5%を占め、ほぼ福井県(4,190.43平方キロメートル・都道府県別34位)の面積に相当する広大な圏域となっております。

隣接する二次医療圏としては、南は上川中部、北に宗谷、西に留萌、東に遠紋の4圏域に接しており、4圏域の中心都市には、旭川市、稚内市、留萌市及び紋別市があります。特に道北の中心都市である旭川市は、行政、保健・医療・福祉などの各分野において当圏域と密接な関係にあります。

図表1 上川北部保健医療福祉圏



2 交通機関・生活圏

(1) 道路

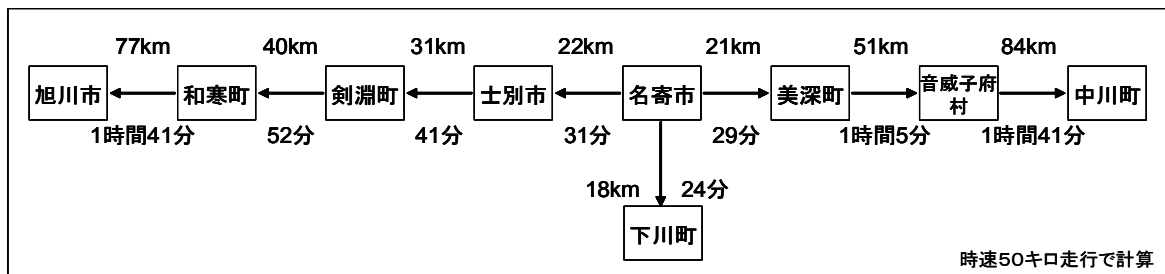
上川北部区域は、旭川市を起点とする国道40号線とJR宗谷本線が並行して稚内市まで縦貫しており、区域内外を連絡する重要な幹線となっています。

下川町は、国道239号線で名寄市につながっています。

名寄市から各市町村までの車による移動距離と移動時間は次のとおりです。冬季間は積雪のため、約1.3～1.5倍の移動時間が必要です。

上川北部区域の高速道路については、札幌・旭川と結ぶ道央自動車道路が平成15年10月、「士別・剣淵」まで供用が開始され、また、名寄市徳田から美深町まで高規格幹線道路が供用されており、今後、士別～名寄間の高速道路の整備が予定されています。

図表2 上川北部区域における移動距離及び時間



(2) 公共交通機関

上川北部区域における公共交通機関として、鉄道は下川町を除く7市町村にJRの停車駅があり、区域内外を連絡しています。

また、名寄を起点として札幌までの都市間バスが運行しています。

なお、区域内の市町村と札幌・旭川間のJRによる移動時間は次のとおりです。

図表3 公共交通機関による移動時間

	和寒町	剣淵町	士別市	名寄市	下川町	美深町	音威子府村	中川町
旭川	27分	36分	42分	57分	1時間 25分	1時間 18分	1時間 44分	2時間 14分
札幌	1時間 53分	2時間 2分	2時間 8分	2時間 23分	2時間 51分	2時間 44分	3時間 10分	3時間 40分

*特急利用による最短時間で計算

*剣淵町は、剣淵－和寒間は快速列車、和寒－旭川・札幌間は特急利用

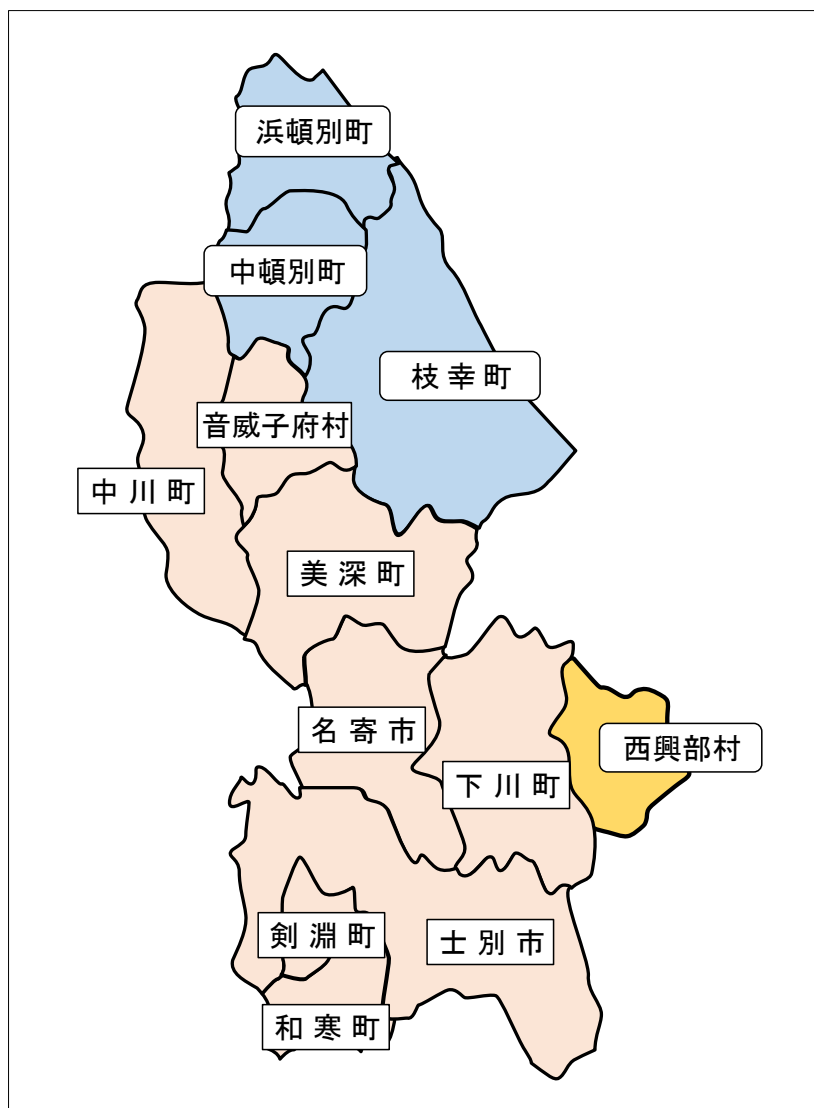
*下川町は、下川－名寄間はバス（所要時間28分）、名寄－旭川・札幌間は特急利用

(3) 生活圏

上川北部区域は、士別市、名寄市、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村及び中川町の2市5町1村からなり、士別市と名寄市が、産業、経済の中心となっており、医療においては、名寄市立総合病院が2次・3次医療の中核的な役割を担っています。

また、経済や医療の分野では、名寄市は、南宗谷地区（浜頓別町、中頓別町、枝幸町）や西紋別地区の西興部村との関わりが多く、士別市より南の地域においては、上川中部（旭川市）との関わりが多くなっています。

図表4 上川北部区域における経済・医療分野の連携区域



第3節 人口の推移

1 人口の推移

(1) 総人口

平成25年3月に公表された国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口（以下「国の推計人口」という。）によると、北海道では、平成22年（2010年）から平成37年（2025年）にかけてを比較した場合、54万6千435人減少するとされ、その後も人口減少が見込まれています。

上川北部区域においても同様に、平成22年と比べると、平成37年にかけて約1万2千600人が減少し、その後も人口減少が見込まれています。

図表5 上川北部区域における推計人口の推移 (単位：人)

	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (平成32年)	2025年 (平成37年)	2030年 (平成42年)	2035年 (平成47年)	2040年 (平成52年)
全 道	5,506,419	5,361,296	5,178,053	4,959,984	4,719,100	4,462,042	4,190,073
上川北部圏域	71,630	67,399	63,269	59,011	54,813	50,754	46,889
士別市	21,787	20,252	18,772	17,236	15,700	14,213	12,815
名寄市	30,591	29,492	28,385	27,164	25,908	24,666	23,412
和寒町	3,832	3,499	3,156	2,828	2,517	2,233	1,981
剣淵町	3,565	3,268	3,012	2,752	2,516	2,283	2,058
下川町	3,775	3,441	3,144	2,843	2,564	2,298	2,058
美深町	5,178	4,803	4,437	4,090	3,747	3,426	3,129
音威子府村	995	932	820	727	646	564	493
中川町	1,907	1,712	1,543	1,371	1,215	1,071	943

* 国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口（平成25年3月推計）

* 平成22年(2010年)国勢調査による人口

(2) 年齢区分別の推計

国の推計人口では、上川北部区域の人口は、64歳以下の人口は今後も減少傾向ですが、65歳以上人口では2020年まで、75歳以上人口では2025年まで増加するものと見込まれており、今後も少子高齢化が進行すると推測されています。

ただし、高齢者人口のピークは、市町村ごとに異なるものと見込まれており、個々の状況を的確に把握することが重要です。

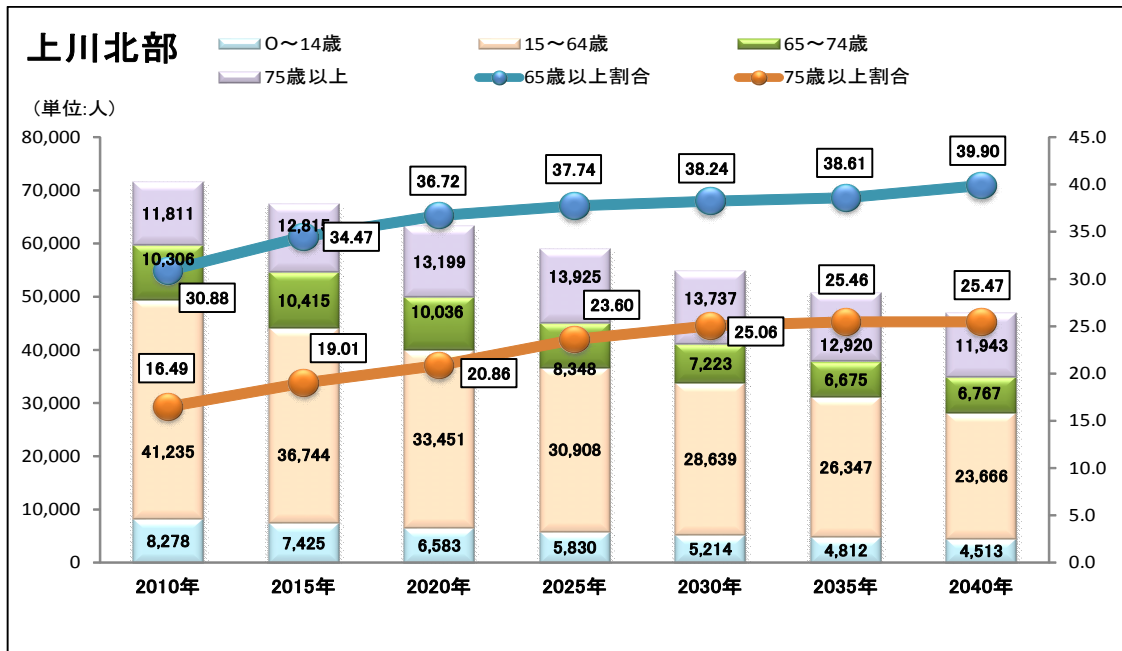
図表6 上川北部区域における年齢区分別の推移 (単位：人)

	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (平成32年)	2025年 (平成37年)	2030年 (平成42年)	2035年 (平成47年)	2040年 (平成52年)
0～14歳	8,278	7,425	6,583	5,830	5,214	4,812	4,513
15～64歳	41,235	36,744	33,451	30,908	28,639	26,347	23,666
65～74歳	10,306	10,415	10,036	8,348	7,223	6,675	6,767
75歳以上	11,811	12,815	13,199	13,925	13,737	12,920	11,943
[再掲65歳以上]	22,117	23,230	23,235	22,273	20,960	19,595	18,710
合計	71,630	67,399	63,269	59,011	54,813	50,754	46,889

図表7 上川北部区域における年齢区分別割合の推移 (単位：%)

	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (平成32年)	2025年 (平成37年)	2030年 (平成42年)	2035年 (平成47年)	2040年 (平成52年)
0～14歳 割合	11.56	11.02	10.40	9.88	9.51	9.48	9.62
15～64歳 割合	57.57	54.52	52.87	52.38	52.25	51.91	50.47
65～74歳 割合	14.39	15.45	15.86	14.15	13.18	13.15	14.43
75歳以上 割合	16.49	19.01	20.86	23.60	25.06	25.46	25.47
[再掲65歳以上割合]	30.88	34.47	36.72	37.74	38.24	38.61	39.90

図表8 圏域における年齢区分別割合の推移・割合



図表9 上川北部区域市町村における推計人口（75歳以上）

二次医療圏	市区町村	75歳以上人口推計						指数
		2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2015→2025
上川北部	士別市	4,156	4,368	4,619	4,566	4,276	3,930	111.14
	名寄市	4,686	4,916	5,371	5,322	5,050	4,767	114.62
	和寒町	905	905	903	829	749	643	99.78
	剣淵町	700	695	711	740	718	664	101.57
	下川町	782	769	766	738	664	588	97.95
	美深町	1,067	1,040	1,039	1,030	951	874	97.38
	音威子府村	141	128	133	156	178	159	94.33
	中川町	378	378	383	356	334	318	101.32
	計	12,815	13,199	13,925	13,737	12,920	11,943	108.66

[指数は、平成27(2015)年の75歳以上人口を100としたときの平成37(2025)年の数値]

2 世帯数

平成22年(2010年)の国勢調査によると、上川北部区域の世帯数については、約3万世帯のうち、「単身高齢者(65歳以上)世帯数」は12.3%、「高齢者夫婦(夫65歳以上妻60歳以上)世帯数」は、16.7%の合計29.0%となっており、いずれも全国及び北海道の割合を上回っています。

市町村別では、「単身高齢者(65歳以上)世帯の割合」は、下川町が最も高く、「高齢者夫婦(夫65歳以上妻60歳以上)世帯の割合」及び合計では、和寒町が高くなっております。

図表10 単身高齢者及び高齢者夫婦の世帯数・割合の状況

	総世帯数	単身高齢者 世帯数	単身高齢者 世帯数 割合(a)	高齢者夫婦 世帯数	高齢者夫婦 世帯数 割合(b)	単身高齢者 及び 高齢者夫婦 の世帯数 割合 (a)+(b)
全国	51,842,307	4,790,768	9.2 %	5,250,952	10.1 %	19.3 %
北海道	2,418,305	261,553	10.8 %	292,775	12.1 %	22.9 %
上川北部圏域	30,439	3,748	12.3 %	5,091	16.7 %	29.0 %
士別市	9,078	1,153	12.7 %	1,641	18.1 %	30.8 %
名寄市	13,291	1,426	10.7 %	1,868	14.1 %	24.8 %
和寒町	1,598	251	15.7 %	343	21.5 %	37.2 %
剣淵町	1,315	162	12.3 %	254	19.3 %	31.6 %
下川町	1,648	282	17.1 %	326	19.8 %	36.9 %
美深町	2,175	302	13.9 %	413	19.0 %	32.9 %
音威子府村	422	44	10.4 %	76	18.0 %	28.4 %
中川町	912	128	14.0 %	170	18.6 %	32.6 %

* 平成22年(2010年)国勢調査による世帯数

3 北海道人口ビジョン

今回の地域医療構想は、国の地域医療構想策定ガイドラインに基づき、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計を用いておりますが、平成27年10月に策定した「北海道人口ビジョン～北海道の人口の現状と展望～」においては、次のとおり人口の将来を展望しています。今回の病床推計については、このような取組みによる今後の人口構造の変化等を踏まえながら見直しが行われると想定されます。

北海道人口ビジョン（抜粋）

人口の将来展望

1 人口分析のまとめ

本道は、自然減と社会減が相まって、全国よりも約10年早く人口減少局面に入り、2010（平成22）年の人口は、ピーク時より約19万人少ない550.6万人となっている。

自然減は、2014（平成26）年の1年間で約23,000人となっているが、その主な要因は出生率・出生数の減少であり、理由としては、若者の不安定な雇用状況や核家族化の進行などによる未婚・晩婚・晩産化が考えられる。

社会減は、2014（平成26）年の1年間で約8,900人となっており、進学・就職等による首都圏への転出が主な要因であると考えられる。

また、地域からの札幌市への人口集中が進行しており、札幌市の出生率の低さが北海道全体の人口減少を加速させる要因となっている。

国の推計によると、今後、有効な対策を講じない場合、本道の人口は、2010（平成22）年の550.6万人から、2040年には419万人と、131.6万人（▲23.9%）の減少となり、小規模市町村ほど減少が加速すると見込まれる。

このことにより、就業者数の著しい減少による生産・消費の減少や、高齢者人口割合の増加による医療費・介護費負担の増大、地域交通の利便性の大きな低下など、道民生活の様々な場面に大きな影響を及ぼすことが懸念される。

2 目指すべき将来の方向

道民の結婚・出産・子育ての希望に関して、国立社会保障・人口問題研究所が実施した「第14回出生動向基本調査結果」（2010（平成22）年）によると、いずれは結婚しようとする未婚者の割合は、北海道で男性85.2%、女性84.1%と、ともに8割を超えているものの、全国平均の男性86.3%、女性89.4%に比べると、いずれも低い水準にある。

また、夫婦の理想とする子ども数は、北海道で男性2.33人、女性1.97人であったが、夫婦が実際に持つ子どもの数である完結出生児数は1.81人となっている。

移住・定住の希望に関して、2013（平成26）年の道民意識調査によると、「現在住んでいる市町村にこれからも住み続けたいと思うか」との問いに対し、「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」との回答の割合が76.2%と、全体の4分の3以上にのぼっている。

2014（平成26）年に国が実施した「東京在住者の今後の移住に関する基本調査」によると、東京在住者のうち、今後移住する、または移住を検討したいと回答した人は40.7%と全体の4割、うち関東圏以外の出身者では49.7%と全体の5割にのぼる。

こうした希望を現実のものとするため、自然減及び社会減の両面から人口減少の進行を緩和する取組とともに、人口減少社会の中で道民の暮らしの安心を確保するための取組を一体的に進め、「幅

広い世代の人々が集い、つながり、安心して暮らせる包容力のある北海道」の実現を目指す。

3 人口の将来展望

「目指すべき将来の方向」の実現に向け、今後、道民をはじめ、幅広い分野の方々と連携し、人口減少対策を進めていくために必要な人口の将来展望を示す。

国による推計を基に試算すると、総人口は2010年の550.6万人から2040年には419.9万人となり、131.6万人減(▲23.9%)となるが、合計特殊出生率が、国の長期ビジョンと同様、2030年までに1.8、2040年までに2.07(人口置換水準)まで上昇し、純移動数が現在の約▲8,000人から2019年で▲4,000人、2025年で0になると仮定した場合は、2040年には約458万人となる。

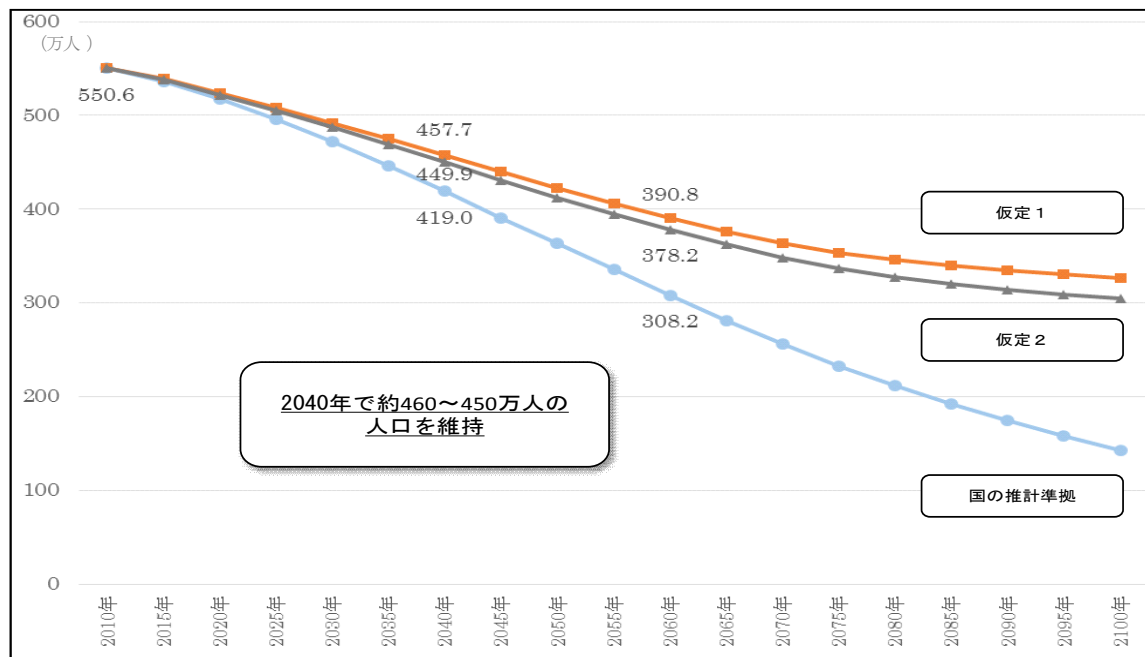
さらに、札幌市の合計特殊出生率が全道平均より低いことを考慮し、札幌市の合計特殊出生率を2030年に1.5、2040年に1.8、2050年に2.07と、約10年ずつ遅れて上昇すると仮定した場合は、2040年の総人口は約450万人となる。

こうした2つの仮定を踏まえ、今後、札幌市における少子化対策の充実強化はもとより、北海道全体として、自然減、社会減対策を効果的かつ一体的に行うことにより、本道の人口は2040(平成52)年に約460~450万人を維持することが可能となる。

なお、これらの仮定に基づき推計した高齢者の人口割合は、国の推計が2040年を超えても上昇していくのに比べ、人口構造の高齢化抑制の効果が2045年頃に現れ始め、その後、低下する。

※ 人口置換水準：人口が制止する合計特殊出生率の水準のことであり、若年期の死亡率が低下している日本においては、夫婦2人から概ね2人の子どもが生まれれば人口が制止することになる。現在の日本の場合、2.07となっている。

図表11 人口の将来見通し(総人口)



《 仮定1：2040年の人口約458万人 》

① 自然動態

○ 合計特殊出生率は、国の長期ビジョンと同様、2030（平成42）年に1.8、2040（平成52）年に2.07の人口置換水準まで上昇する。

② 社会動態

○ 道外への転出超過数は、現在、約▲8,000人であるが、2016（平成28）年以降、マイナスが縮小し、2019（平成31）年で、現在の半分の▲4,000人になる。

○ 2020（平成32）年以降もマイナス幅は縮小し、社人研推計と同様に、2025（平成37）年で社会増減数が均衡し、転出超過がゼロとなる。

《 仮定2：2040年の人口約450万人 》

① 自然動態

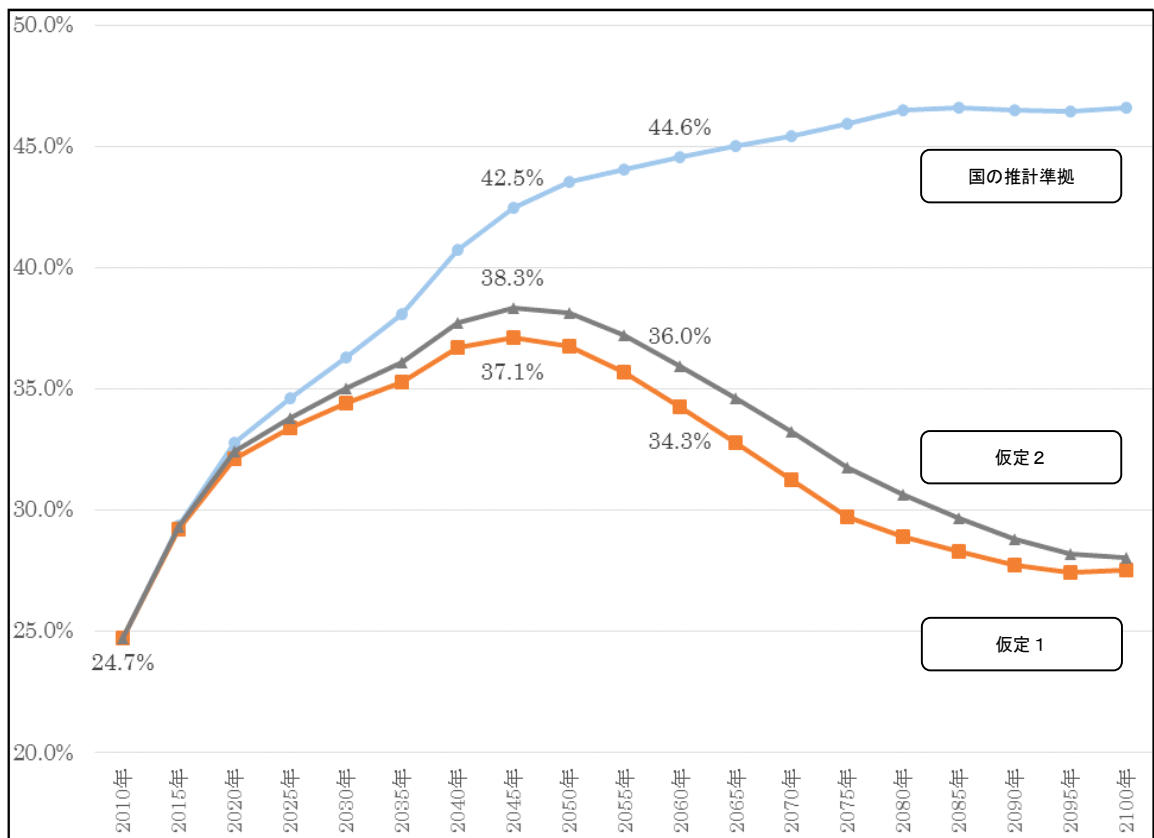
○ 合計特殊出生率は、札幌市に関しては、2030（平成42）年に1.5、2040（平成52）年に1.8、2050（平成62）年に2.07まで上昇する。

○ 札幌市以外は仮定1と同様に、2030（平成42）年に1.8、2040（平成52）年に2.07まで上昇する。

② 社会動態

○ 社会増減に関しては、仮定1と同様に推移する。

図表12 高齢者人口割合の推移



第4節 患者及び病院等の状況

1 患者の受療動向

2013年における入院患者（一般病床、療養病床）の受療動向から、2025年の入院需要（人/日）を推計すると図表13-1～13-4のとおりとなります。

北海道としては、高度急性期から急性期については、新たなる不足する地域の機能強化を図ることは現実的ではないことから、今後も一定程度、患者の流出入は継続されると想定されますが、回復期から慢性期については、第二次医療圏内で完結することが必要であると考えます。

図表13-1 2025年 4機能別医療需要(北海道)【高度急性期】

※ 0.0 ～10人未満のため秘匿

単位：人/日

患者住所	医療機関所在地																					
	南渡島	南檜山	北渡島檜山	札幌	後志	南空知	中空知	北空知	西胆振	東胆振	日高	上川中部	上川北部	富良野	留萌	宗谷	北網	遠紋	十勝	釧路	根室	
南渡島	394.8	0.0	0.0	10.8	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
南檜山	16.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0
北渡島檜山	18.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0
札幌	0.0	0.0	0.0	2,532.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
後志	0.0	0	0.0	84.9	117.4	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
南空知	0.0	0	0.0	66.1	0.0	66.6	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
中空知	0.0	0	0	15.4	0.0	0.0	80.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
北空知	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	11.3	0.0	0.0	0	14.3	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
西胆振	0.0	0	0.0	16.4	0.0	0.0	0.0	0	195.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0
東胆振	0.0	0	0	33.8	0.0	0.0	0.0	0	0.0	149.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0
日高	0.0	0	0	24.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.7	14.4	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0
上川中部	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	398.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
上川北部	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	23.3	35.1	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
富良野	0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	19.4	0.0	17.3	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0
留萌	0	0.0	0	10.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	11.8	0.0	0.0	25.8	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0
宗谷	0.0	0	0	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	10.8	0.0	0	0	20.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
北網	0.0	0	0	18.3	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	189.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
遠紋	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	13.0	0.0	0.0	0	0.0	11.3	33.8	0.0	0.0	0.0	0
十勝	0.0	0	0	16.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	265.1	0.0	0.0	0.0
釧路	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	221.3	0.0
根室	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.6	14.2

※ 表中の「0.0」は、患者の流出入がないということではなく、国の取り扱いにより10人未満を0.0と記載しています。

なお、10人未満の実績であっても、高度急性期及び急性期における患者の流出入は、必要病床数の推計に反映されています。

図表13-2 2025年 4機能別医療需要(北海道)【急性期】

※ 0.0 ~10人未満のため秘匿

単位：人/日

	医療機関所在地																						
	南渡島	南檜山	北渡島檜山	札幌	後志	南空知	中空知	北空知	西胆振	東胆振	日高	上川中部	上川北部	富良野	留萌	宗谷	北網	遠紋	十勝	釧路	根室		
患者住所在地	南渡島	1,272.0	0.0	0.0	26.1	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	南檜山	36.7	39.2	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0	
	北渡島檜山	41.6	0.0	76.5	14.5	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	
	札幌	0.0	0.0	0.0	7,535.4	0.0	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	後志	0.0	0	0.0	201.6	481.1	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南空知	0.0	0	0.0	177.5	0.0	336.4	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	中空知	0.0	0	0	39.4	0.0	0.0	297.5	0.0	0.0	0.0	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北空知	0.0	0	0	0.0	0	0.0	10.3	71.6	0	0.0	0	31.9	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	西胆振	0.0	0	0.0	39.8	0.0	0.0	0	584.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	東胆振	0.0	0	0	89.9	0.0	0.0	0.0	0	15.6	518.5	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0
	日高	0.0	0	0	59.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.1	79.2	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0
	上川中部	0.0	0	0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	1,186.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	上川北部	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	46.7	143.1	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	富良野	0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	36.5	0.0	88.2	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	留萌	0	0	0	27.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	23.4	0.0	109.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	宗谷	0.0	0	0	47.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	22.4	21.1	0.0	94.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	北網	0.0	0	0	36.9	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	10.9	0.0	0.0	0	0.0	578.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	遠紋	0.0	0	0	19.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	26.5	0.0	0.0	0	0	28.7	142.3	0.0	0.0	0.0	0
	十勝	0.0	0	0.0	33.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	871.6	0.0	0.0	0.0
	釧路	0.0	0	0	18.8	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	768.0	0.0	0.0
根室	0.0	0	0	17.5	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	102.6	74.1	0.0	

図表13-3 2025年 4機能別医療需要(北海道)【回復期】

※ 0.0 ~10人未満のため秘匿

単位：人/日

	医療機関所在地																						
	南渡島	南檜山	北渡島檜山	札幌	後志	南空知	中空知	北空知	西胆振	東胆振	日高	上川中部	上川北部	富良野	留萌	宗谷	北網	遠紋	十勝	釧路	根室		
患者住所在地	南渡島	1,411.2	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	
	南檜山	41.1	60.1	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0	
	北渡島檜山	42.2	0.0	112.1	14.8	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	札幌	0.0	0.0	0.0	7,842.1	27.3	27.7	0.0	0.0	0.0	11.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	後志	0.0	0	0.0	205.4	544.1	0.0	0	10.2	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	南空知	0.0	0	0.0	175.3	0.0	439.9	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	中空知	0.0	0	0	40.1	0.0	0.0	325.3	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	北空知	0	0	0	0.0	0	0.0	10.9	92.0	0	0.0	0	28.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	西胆振	0.0	0	0.0	39.1	0.0	0.0	0.0	0	505.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	東胆振	0.0	0	0	81.1	0.0	0.0	0	21.5	607.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0
	日高	0.0	0	0	57.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.6	106.6	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0
	上川中部	0.0	0	0	19.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	1,414.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	上川北部	0.0	0	0	10.2	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	49.1	163.7	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	富良野	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	36.1	0	113.4	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0
	留萌	0	0.0	0	26.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	18.2	0.0	0.0	114.4	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0
	宗谷	0.0	0	0	45.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	21.7	13.5	0	0.0	159.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	北網	0.0	0	0	33.5	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	617.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	遠紋	0.0	0	0	20.1	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	22.2	0.0	0.0	0	0.0	27.6	179.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	十勝	0.0	0	0	28.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	1,031.8	0.0	0.0	0.0
	釧路	0.0	0	0	17.4	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	662.0	0.0	0.0
根室	0	0	0.0	15.9	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	84.6	108.2	0.0	

図表13-4 2025年 4機能別医療需要(北海道)【慢性期】

単位：人/日

※ 0.0 ~1.0人未満のため秘匿
 ※※～パターンCを選択可能な区域

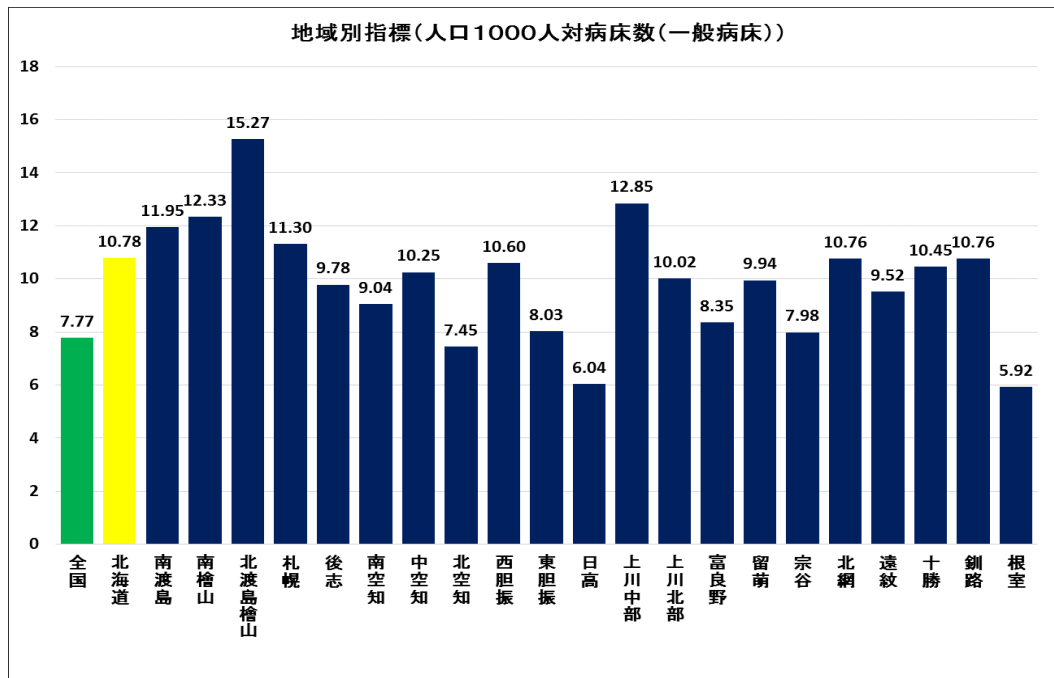
患者住所地	医療機関所在地																				
	南渡島	南檜山	北渡島檜山	札幌	後志	南空知	中空知	北空知	西胆振	東胆振	日高	上川中部	上川北部	富良野	留萌	宗谷	北網	遠紋	十勝	釧路	根室
南渡島	748.5	0.0	42.8	18.9	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0
南檜山 *	11.2	42.2	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北渡島檜山	0.0	0.0	139.6	28.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
札幌	0.0	0.0	18.4	10,778.8	93.8	35.2	15.2	0.0	11.0	25.6	0.0	20.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
後志 *	0.0	0.0	0.0	372.1	714.9	0.0	0.0	0.0	55.3	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0
南空知 *	0	0	0.0	176.0	0.0	383.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中空知 *	0	0	0.0	49.4	0.0	0.0	490.7	10.3	0.0	0.0	0.0	13.8	0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0
北空知 *	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.8	202.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
西胆振 *	0.0	0.0	0.0	37.1	10.2	0	0	0	974.6	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東胆振	0.0	0	0.0	92.3	0.0	0.0	0	0	32.8	474.5	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0
日高 *	0	0	0.0	44.5	0.0	0.0	0.0	0	0.0	15.7	163.8	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.0	0
上川中部	0.0	0	0.0	28.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	1,317.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
上川北部 *	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	24.8	191.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
富良野	0	0	0.0	11.3	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	23.8	0	105.1	0	0	0	0	0.0	0.0	0
留萌 *	0	0	0.0	31.0	0	0.0	0.0	26.4	0.0	0	0	11.8	0	0.0	101.5	0.0	0	0	0.0	0.0	0
宗谷	0	0	0.0	33.2	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	90.2	0.0	0.0	0	0.0	0
北網 *	0.0	0	0.0	23.6	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	531.5	0.0	13.1	10.7	0.0
遠紋 *	0	0	0.0	13.9	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	21.0	191.7	0.0	0	0
十勝	0	0	0.0	19.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	15.4	0	1,184.4	0.0	0.0
釧路 *	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	10.4	0.0	18.8	646.6	0.0
根室	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	29.3	75.0

2 地域別病床数の指標

(1) 一般病床

平成26年10月1日現在、上川北部圏域における一般病床数(人口千人あたり)は、全道平均よりやや低く、全国平均より高くなっています。

図表14

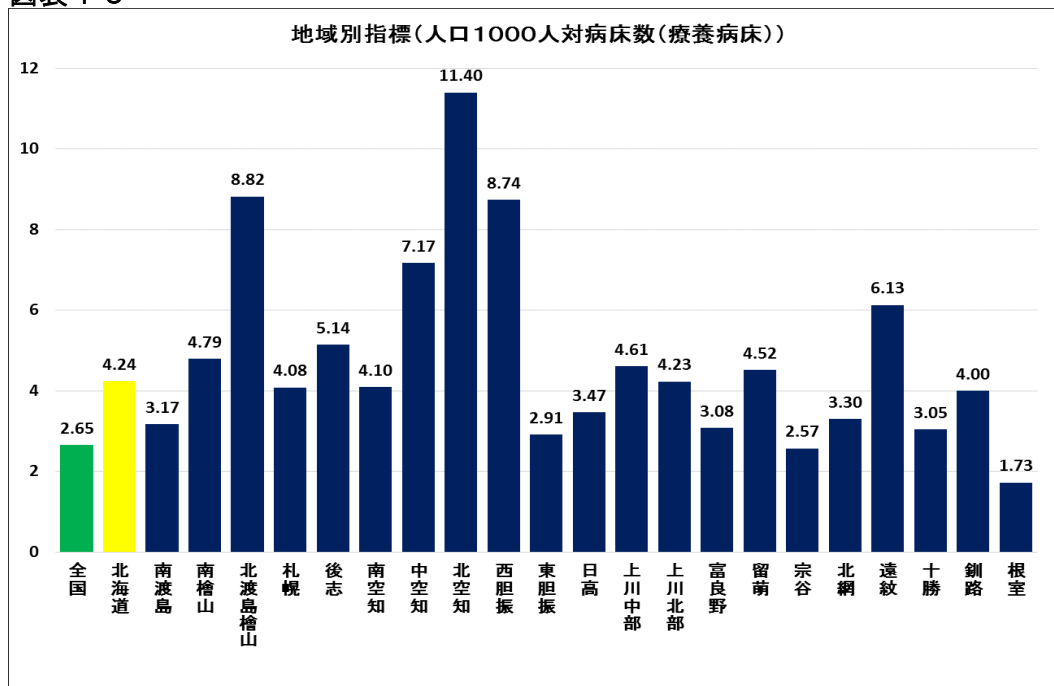


(厚生労働省平成26年医療施設(静態・動態)調査、平成22年国勢調査による)

(2) 療養病床

平成26年10月1日現在、上川北部圏域における療養病床数(人口千人あたり)は、全道平均とほぼ同じで、全国平均より高くなっています。

図表15



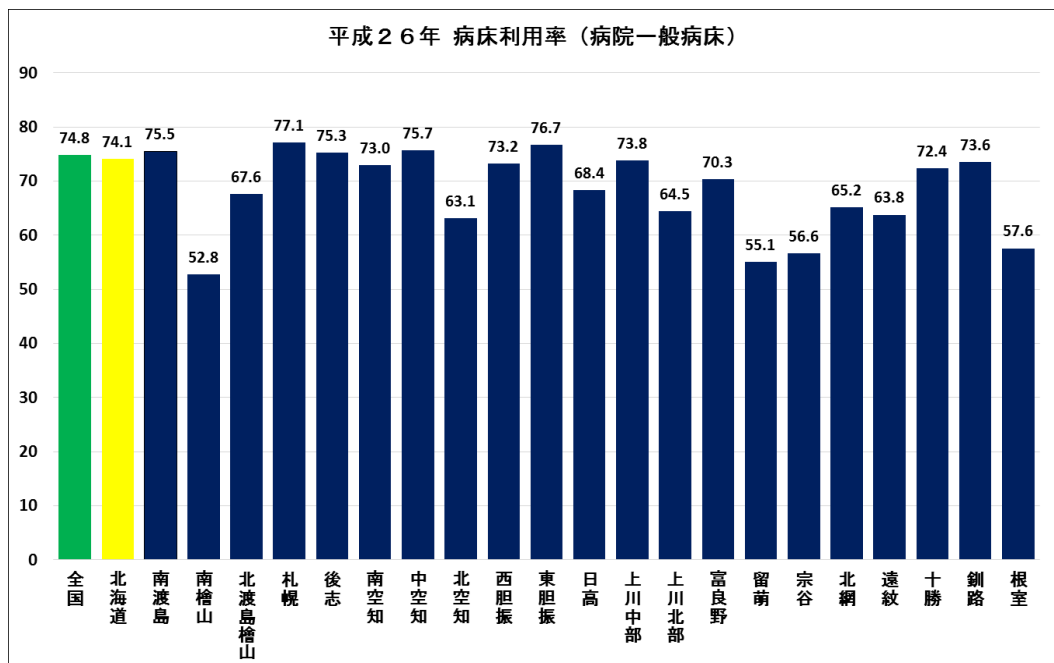
(厚生労働省平成26年医療施設(静態・動態)調査、平成22年国勢調査による)

3 病院の病床利用率

(1) 一般病床

平成26年病院報告では、上川北部圏域における病院の一般病床利用率は、全道及び全国平均より低くなっています。

図表16

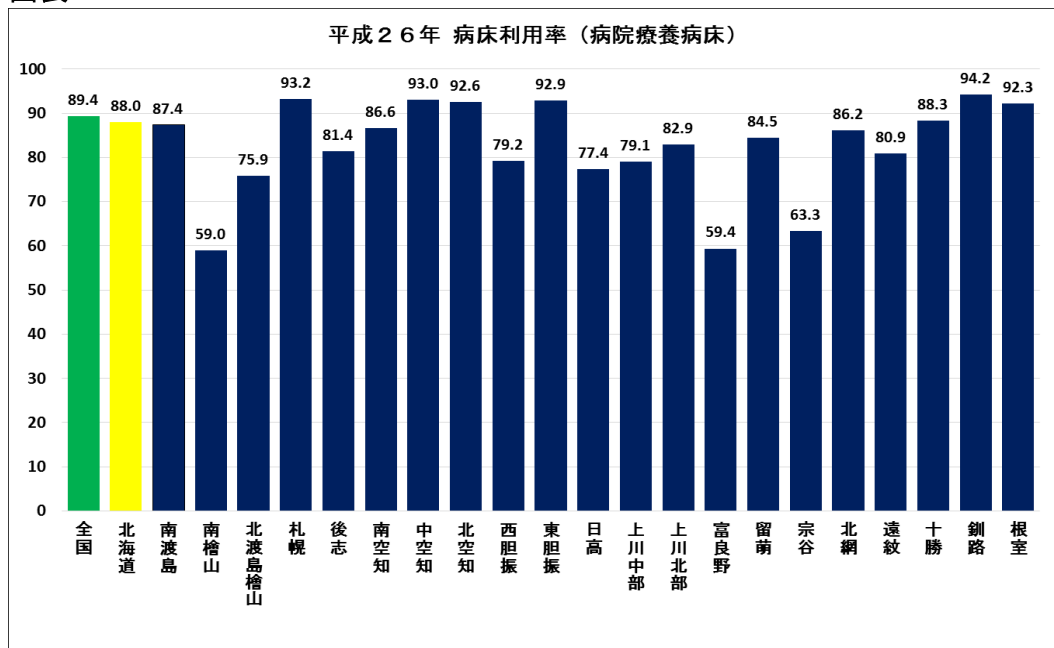


(厚生労働省平成26年病院報告による)

(2) 療養病床

平成26年病院報告では、上川北部圏域における病院の療養病床利用率は、全道及び全国平均より低くなっています。

図表17



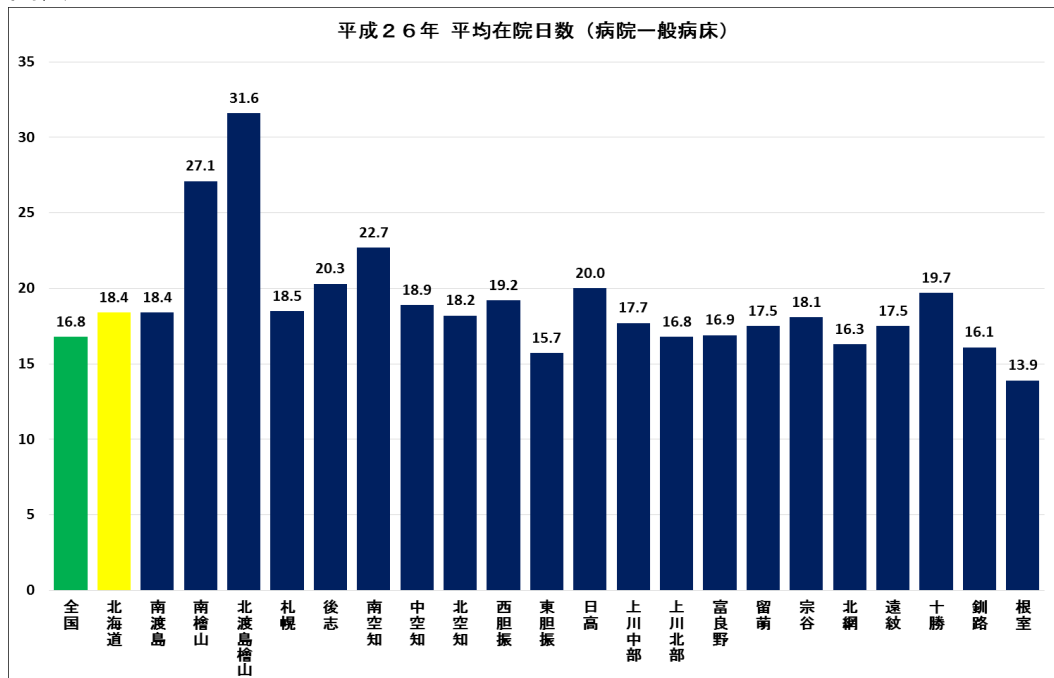
(厚生労働省平成26年病院報告による)

4 病院の平均在院日数

(1) 一般病床

平成26年病院報告では、上川北部圏域における病院の一般病床平均在院日数は、全道平均より短く、全国平均とほぼ同じ数値となっています。

図表18

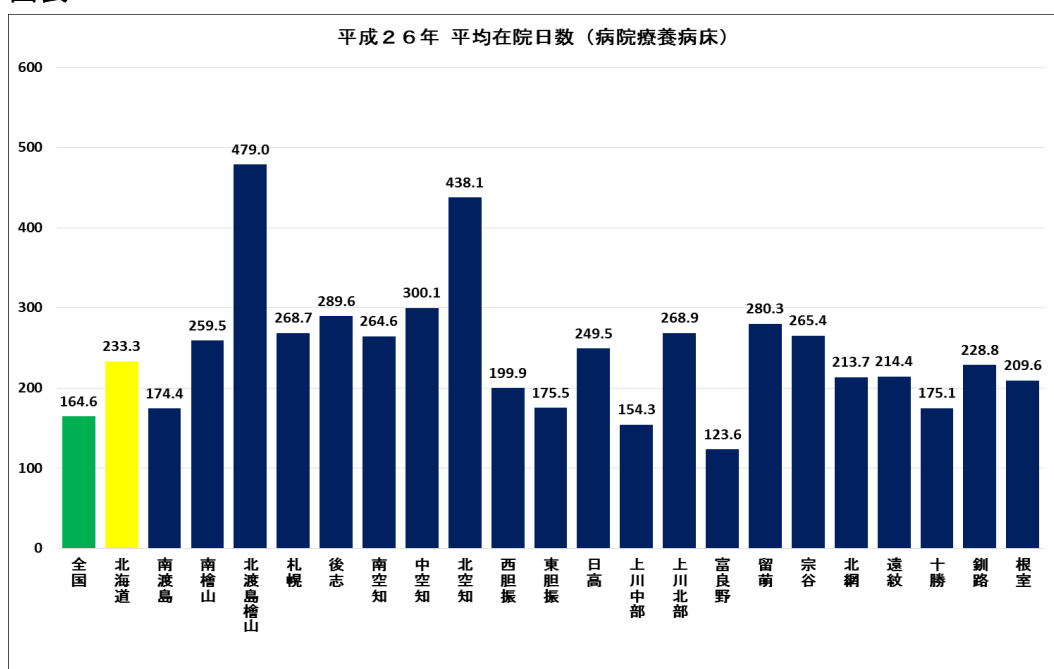


(厚生労働省平成26年病院報告による)

(2) 療養病床

平成26年病院報告では、上川北部圏域における病院の療養病床平均在院日数は、全道平均より30日以上、全国平均より100日以上長くなっています。

図表19



(厚生労働省平成26年病院報告による)

5 医療施設の状況

図表 20 医療施設数（上段：実数、下段：人口10万対数）

(1) 病院数 各年10月1日

	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
全 国	9,187 (7.2)	9,026 (7.1)	8,794 (6.9)	8,605 (6.7)	8,565 (6.7)	8,540 (6.7)	8,493 (6.7)
北 海 道	634 (11.2)	620 (11.0)	594 (10.7)	579 (10.6)	574 (10.5)	575 (10.6)	569 (10.5)
上川北部	8 (10.0)	8 (10.5)	8 (11.0)	8 (11.3)	8 (11.5)	8 (11.7)	8 -

(2) 一般診療所数 各年10月1日

	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
全 国	94,819 (77.4)	97,442 (76.3)	99,083 (77.6)	99,574 (77.9)	100,152 (78.5)	100,528 (79.0)	100,461 (79.1)
北 海 道	3,344 (59.0)	3,363 (59.8)	3,375 (61.0)	3,377 (61.6)	3,386 (62.0)	3,396 (62.5)	3,377 (62.5)
上川北部	40 (50.2)	38 (50.0)	39 (53.6)	39 (55.2)	40 (57.6)	40 (58.6)	40 -

(3) 歯科診療所数 各年10月1日

	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
全 国	65,073 (51.1)	66,732 (52.2)	67,779 (53.1)	68,156 (53.3)	68,474 (53.7)	68,701 (54.0)	68,592 (54.0)
北 海 道	2,975 (52.5)	3,025 (53.8)	3,027 (54.7)	2,999 (54.7)	3,014 (55.2)	3,003 (55.3)	2,978 (55.1)
上川北部	36 (45.2)	37 (48.6)	36 (49.5)	37 (52.4)	37 (53.3)	38 (55.6)	37 -

(4) 病院病床数 各年10月1日

	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
全 国	1,642,593 (1,289.0)	1,631,473 (1,276.9)	1,609,403 (1,260.4)	1,583,073 (1,238.7)	1,578,254 (1,238.0)	1,573,772 (1,236.3)	1,568,261 (1,234.0)
北 海 道	106,291 (1,874.6)	104,897 (1,863.9)	101,071 (1,826.0)	98,526 (1,796.0)	97,555 (1,787.0)	97,341 (1,792.3)	96,574 (1,788.4)
上川北部	1,289 (1,617.3)	1,202 (15,803.0)	1,154 (1,587.3)	1,123 (1,597.4)	1,123 (1,617.0)	1,123 (1,644.0)	1,013 -

(5) 一般診療所病床数 各年10月1日

	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
全 国	196,596 (154.3)	167,000 (130.7)	146,568 (114.8)	129,366 (101.2)	125,599 (98.5)	121,342 (95.3)	112,364 (88.4)
北 海 道	12,252 (216.1)	10,152 (180.4)	8,657 (156.4)	7,522 (137.1)	7,363 (134.6)	7,259 (133.7)	6,950 (128.7)
上川北部	164 (2,058.0)	164 (215.6)	105 (144.4)	67 (95.3)	67 (95.5)	67 (98.1)	67 -

【上川北部圏域における医療機関一覧】

〈病院（名寄保健所管内） H27. 11. 1現在〉

図表 2 1

病 院 名 称	所 在 地	許可病床数（使用許可ベース）						標ぼう診療科目	救急告示
		総数	一般	療養	精神	結核	感染		
士別市立病院	士別市 東11条5丁目3029番地1	179	91	88				内・精・神・小・外・ 整・皮・泌・婦・眼・ 麻・循内・消内・放	○
国民健康保険 町立和寒病院	上川郡和寒町 字西町111番地	30	30					内・小・外・麻・リハ	○
名寄市立総合病院	名寄市 西7条南8丁目1番地	359	300		55		4	内・精・神内・呼吸器内 科・消化器内科・糖尿病 代謝内科・循環器内科・ 小・外・整・脳・呼外・ 心外・皮・泌・産婦・ 眼・耳・放・麻・心内・ 救急	○
町立下川病院	上川郡下川町 西町36番地	42	12	30				内・小・外・放	○
J A 北海道厚生連 美深厚生病院	中川郡美深町 東1条南3丁目	64	34	30				内・小・外	○
医療法人臨生会 吉田病院	名寄市 西3条南6丁目8番地2	124	64	60				内・肛・耳・リハ・歯・ 矯歯・小歯・歯外	
医療法人社団三愛会 名寄三愛病院	名寄市 西1条北5丁目1番19	90	44	46				内・消・循・リハ・歯	
名寄東病院	名寄市 東6条南5丁目91番地3	105		105				内・脳・リハ	
名寄保健所計	8	993	575	359	55	0	4		5

〈有床診療所（名寄保健所管内） H27. 11. 1現在〉

図表 2 2

診 療 所 名 称	所 在 地	病床数 設置許可（届出）ベース			標ぼう診療科目	救急告示
		総数	一般	療養		
医療法人社団 名寄中央整形外科	名寄市 西2条南6丁目10番地	19	15	4	内・整・リハ・リウ	
音威子府村立診療所	中川郡音威子府村 字音威子府509番地88	19	11	8	消・リウ・内・整・小・ 皮	○
陸上自衛隊 名寄駐とん地医務室	名寄市内淵84	19	19		内・外・歯科	
中川町立診療所	中川町字中川382番地1	10	10		内・小・外・整・皮・ 耳・麻	○
名寄保健所計	4	67	55	12		2

〈無床診療所（名寄保健所管内） H27. 11. 1〉

図表 2 3 - 1

診療所名称	所在地	標ぼう診療科目
北海道名寄保健所	名寄市東5条南3丁目63番地38	内
名寄市特別養護老人ホーム清峰園医務室	名寄市東8条南8丁目117番地	内
医療法人社団たに内科クリニック	名寄市西8条南11丁目28番地159	内・消
あかいし内科医院	名寄市西4条北2丁目9番地3	内・呼・循
医療法人社団あべクリニック	名寄市西1条南6丁目20番地1	精・心内
名寄市立大学保健福祉センター	名寄市西4条北8丁目	内・小
医療法人社団片平外科・脳神経外科	名寄市大通南3丁目3番地	外・整・脳・皮・リハ・ 歯・小歯・歯外
なよろ眼科	名寄市大通南7丁目1番地	眼
名寄市風連国民健康保険診療所	名寄市風連町本町76番地1	内・外・整
名寄市風連特別養護老人ホームしらかばハイツ	名寄市風連町北栄町51番地1	内
士別市立あさひクリニック	士別市朝日町中央4029番地	内・外
特別養護老人ホーム朝日美土里ハイツ	士別市朝日町中央4029番地	内
士別桜丘荘診療所	士別市東11条4丁目3029番地19	内
士別市立上士別医院	士別市上士別町16線南3番地	内・小・外・皮・麻
士別市立多寄医院	士別市多寄町37線西1番地	内・小
士別コスモス苑診療所	士別市東9条2丁目2番地	内
士別市保健福祉センター	士別市東11条5丁目3029番地1	内
医療法人社団松塚医院	士別市東1条8丁目275番地53	内・小
医療法人臨生会吉田耳鼻咽喉科分院	士別市大通西10丁目	耳・気
船津医院	士別市東2条北4丁目10番地	内・小・外
しべつ耳鼻咽喉科あらかわクリニック	士別市東11条6丁目2309-2	耳・ア
和寒町保健福祉センター	和寒町字西町111番地	内・歯
和寒町特別養護老人ホーム芳生苑	和寒町字三笠6番地	内・外
医療法人社団野々瀬内科小児科クリニック	和寒町字西町197番地14	内・小
和寒町子育て支援センターこども館	和寒町字三笠96番地	小・歯
特別養護老人ホーム剣淵ひらなみ荘医務室	剣淵町元町4番1号	内・外
剣淵町健康福祉総合センター	剣淵町仲町28番1号	内・歯
国民健康保険剣淵町立診療所	剣淵町仲町28番1号	内・小・放
下川町立特別養護老人ホームあけぼの園	下川町西町352番地	内
美深町保健センター	美深町字西町19番地	内・歯
美深町立恩根内診療所	美深町字恩根内77	内
美深町特別養護老人ホーム	美深町字敷島91番地の1	内
瀬尾医院	美深町字東1条北1丁目13番地	内・小
中川町社協特別養護老人ホーム一心苑医務室	中川町字中川523番地2	内
しべつ内科クリニック	士別市東1条9丁目8番地1	内
道北クリニック	士別市東1条15丁目3144-166	内・小・外・皮・リハ
名寄保健所計	36	

〈歯科診療所（名寄保健所管内） H27. 11. 1〉

図表 2 3 - 2

診療所名称	所在地	標ぼう診療科目
医療法人臨生会吉田歯科分院	名寄市西8条北1丁目	歯・矯正・小歯
谷口歯科クリニック	名寄市西4条南3丁目6番地の2	歯・矯正・小歯
医療法人臨生会名寄歯科医院	名寄市西6条南8丁目	歯・矯正・小歯
医療法人社団大谷歯科クリニック	名寄市西4条南9丁目14番地16	歯・小歯
せきのう歯科医院	名寄市西5条南8丁目4-1	歯
ホワイト歯科	名寄市西2条南8丁目12番地	歯・小歯・歯外
川口歯科医院	名寄市西2条北5丁目14番地1	歯
医療法人社団ますい歯科医院	名寄市西7条南1丁目4番地	歯・小歯
かずさか歯科クリニック	名寄市西4条北2丁目3番地	歯・小歯
医療法人社団宏歯会しみず歯科クリニック	名寄市大通北6丁目10番地	歯・矯正・小歯・歯外
アカシヤ歯科クリニック	名寄市大通北3丁目11番地の2	歯・小歯・歯外
なかつえ歯科医院	名寄市西3条南6丁目	歯・小歯
まつき歯科医院	名寄市風連町大町147-1	歯・小歯
医療法人社団山本歯科医院風連歯科診療所	名寄市風連町西町78-61	歯
医療法人社団宏歯会ミナマチ歯科医院	名寄市風連町南町23番1,26番地	歯・矯正・小歯・歯外
医療法人社団 ふくろう会 アウル歯科	名寄市豊栄109番地33	歯・矯正・小歯
医療法人社団朝日歯科診療所	士別市朝日町中央4040番地	歯
間宮歯科医院	士別市西2条7丁目	歯
浜本歯科医院	士別市大通西7丁目1934-2	歯
医療法人社団大谷歯科医院	士別市大通東9丁目2337番地	歯
医療法人社団山本歯科医院	士別市東2条8丁目13番地	歯
ももせ歯科医院	士別市大通東1丁目	歯・矯正・小歯
医療法人社団たしろ歯科医院	士別市東2条15丁目3130番地92	歯・小歯
ノエル歯科医院	士別市東2条6丁目10番地	歯・矯正・小歯
医療法人社団宏歯会つくも歯科医院	士別市東5条北1丁目4-1、4-2番地	歯・矯正・小歯・歯外
医療法人社団ぬかが歯科医院	士別市東5条7丁目1608番地の3	歯・小歯
かたくり歯科	和寒町西町212番地	歯・矯正・小歯・歯外
医療法人社団あずま歯科クリニック	士別市東5条17丁目3129-266	歯
医療法人社団和寒歯科医院	和寒町字西町61番地	歯・小歯・歯外
剣淵歯科診療所	剣淵町仲町27番7号	歯
医療法人社団歯生会さくらおか歯科	剣淵町西町6番6号	歯・矯正・小歯・歯外
下川歯科医院	下川町幸町135番地	歯・小歯
下川町ファミリー歯科	下川町西町33-2	歯
美深歯科医院	美深町大通南1丁目14	歯
松尾歯科医院	美深町字東1条北1丁目18番地	歯・矯正・小歯・歯外
中川町立歯科診療所	中川町字中川396番地	歯・矯正・小歯・歯外
音威子府歯科医院	音威子府村字音威子府337番地	歯・矯正・小歯
士別やまぎし歯科	士別市大通東18丁目465-38	歯・歯外・小歯
ちば歯科医院	名寄市西4条南5丁目27番地	歯・小歯
名寄保健所計	39	

6 病床機能報告制度の結果（平成26年7月1日現在）

（1）上川北部圏域における医療機能別病床の状況

① 現状

平成26年7月1日時点の機能として、各医療機関が自主的に選択した機能の状況です。

なお、病床機能報告制度は、病棟ごとに医療機能を選択することとされています。

図表24

区分	施設名称	全体	許可病床数				
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答
病院	医療法人臨生会吉田病院	126	0	38	28	60	0
	医療法人社団三愛会名寄三愛病院	90	0	0	0	90	0
	JA北海道厚生連美深厚生病院	64	0	0	34	30	0
	町立下川病院	42	0	12	0	30	0
	名寄市立総合病院	300	11	242	0	0	47
	士別市立病院	199	0	179	0	20	0
	名寄東病院	105	0	0	0	105	0
	国民健康保険町立和寒病院	30	0	30	0	0	0
小計		956	11	501	62	335	47
診療所	音威子府村立診療所	19	0	19	0	0	0
	中川町立診療所	10	0	10	0	0	0
	医療法人社団名寄中央整形外科	19	0	19	0	0	0
小計		48	0	48	0	0	0
合計		1,004	11	549	62	335	47

② 6年後の予定

平成26年7月1日時点から6年経過した時点の機能の予定として、各医療機関が自主的に選択した機能の状況です。

図表25

区分	施設名称	全体	許可病床数				
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答
病院	医療法人臨生会吉田病院	126	0	38	28	60	0
	医療法人社団三愛会名寄三愛病院	90	0	0	0	90	0
	JA北海道厚生連美深厚生病院	64	0	0	64	0	0
	町立下川病院	42	0	12	0	30	0
	名寄市立総合病院	300	11	242	47	0	0
	士別市立病院	199	0	88	0	111	0
	名寄東病院	105	0	0	0	105	0
	国民健康保険町立和寒病院	30	0	30	0	0	0
小計		956	11	410	139	396	0
診療所	音威子府村立診療所	19	0	19	0	0	0
	中川町立診療所	10	0	10	0	0	0
	医療法人社団名寄中央整形外科	19	0	19	0	0	0
小計		48	0	48	0	0	0
合計		1,004	11	458	139	396	0

7 医療従事者の状況

医師、歯科医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師の医療従事者について、平成24年末と平成26年末における届出数と人口10万対の従事者を示しています。

人口10万対従事者は、保健師、助産師及び准看護師以外は、全道平均を下回っている状況です。

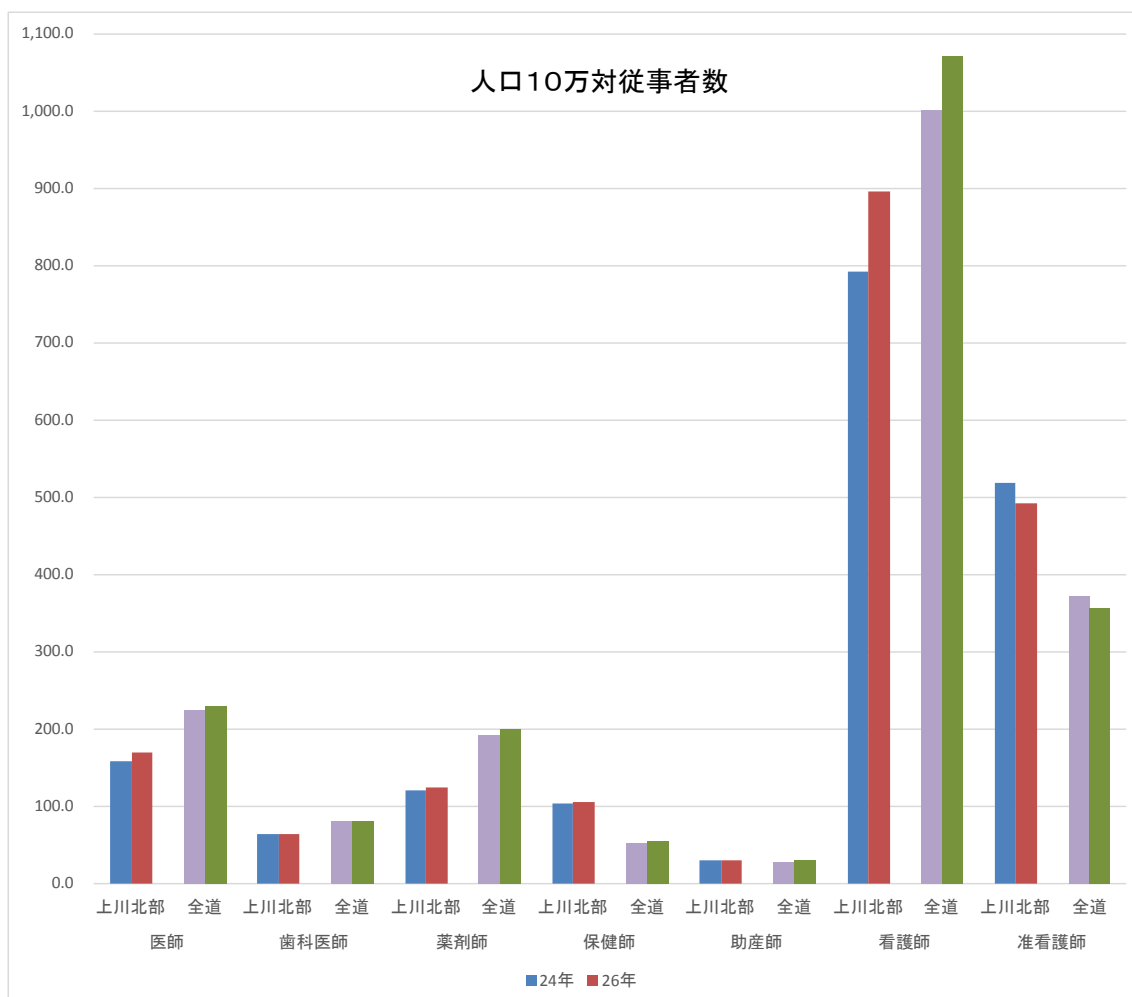
図表26

従事者別医師・歯科医師・薬剤師数・保健師・助産師・看護師・准看護師数及び率（人口10万対）

		医 師		歯 科 医 師		薬 剤 師		保 健 師	
		平成24年	平成26年	平成24年	平成26年	平成24年	平成26年	平成24年	平成26年
上川北部	届出数	111	115	45	44	85	84	72	72
	10万対	159.8	171.4	64.8	65.6	122.4	125.2	103.9	107.2
全 道	届出数	12,262	12,431	4,469	4,435	10,585	10,803	2,874	3,028
	10万対	224.3	230.2	81.8	82.4	193.9	200.8	52.8	56.3

		助産師		看護師		准看護師	
		平成24年	平成26年	平成24年	平成26年	平成24年	平成26年
上川北部	届出数	22	21	550	602	360	331
	10万対	31.7	31.3	793.7	897.0	519.5	493.2
全 道	届出数	1,585	1,647	54,555	57,732	20,286	19,172
	10万対	29.1	30.6	1002.5	1072.9	372.8	356.3

注) 医師、歯科医師、薬剤師は医師・歯科医師・薬剤師調査、
保健師、助産師、看護師、准看護師は看護婦等従事者届による。
注) 人口は平成24年は国勢調査総人口、平成26年は推計人口による。



(1) 病院における従事者数の状況（平成26年10月1日現在）

図表27-1

(単位:人)

	保健師	助産師	看護師	准看護師	看護業務 補助者	理学療法士 (PT)	作業療法士 (OT)	視能訓練士	言語聴覚士	義肢装具士
北海道	324.7	1103.9	43109.4	9506.7	13397.4	3263.0	2278.7	212.5	770.7	3
札幌	139.7	498.8	20290.6	3101.2	5718.1	1616.6	1150.3	103.7	395.1	0
上川中部	45.5	117.8	3843.9	817.8	1176.9	274.7	175.9	19.7	65.4	0
上川北部	0.0	18.9	456.6	167.0	155.9	27.8	14	4.6	6	0

	歯科衛生士	歯科技士	診療放射線 技師	診療エックス 線技師	臨床検査 技師	衛生検査 技師	臨床工学士	あん摩マッ サージ指圧師	柔道整復師	管理栄養士
北海道	260.4	32	2430.8	12.8	2430.0	0	1248.2	92.6	112.8	1150.1
札幌	112.3	20	1112.8	4.6	1085.7	0	619.2	33.1	54.0	498.0
上川中部	22.8	3	196.1	3.0	223.2	0	77.1	11.0	13.0	87.6
上川北部	6.0	5	29.0	0	33.0	0	13.0	0.0	0.0	14.0

	栄養士	精神保健 福祉士	社会福祉士	介護福祉士	その他 技術員	医療社会 事業従事者	事務職員	その他職員
北海道	117.6	498.4	592.6	3439.0	1009.2	527.0	11246.6	4747.5
札幌	35.1	258.5	353.4	1792.9	343.5	201.6	5143.5	1851.5
上川中部	29.8	37.1	22.7	260.1	92.0	90.3	929.6	436.7
上川北部	2.0	3.0	6.0	29.0	17.8	1.8	150.3	121.9

(2) 一般診療所における従事者数の状況（平成26年10月1日現在）

図表27-2

(単位:人)

	保健師	助産師	看護師	准看護師	看護業務 補助者	理学療法士 (PT)	作業療法士 (OT)	視能訓練士	言語聴覚士	義肢装具士
北海道	527.1	284.8	5219.4	4137.0	1131.5	336.5	123.3	220.1	49.2	1.0
札幌	251.6	208.7	2822.3	1318.4	441.4	184.6	59.2	142.9	24.0	1.0
上川中部	25.5	23.0	333.6	405.6	135.8	33.2	1.0	16.6	2.0	0.0
上川北部	11.9	0.0	43.9	54.1	4.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0

	歯科衛生士	歯科技士	診療放射線 技師	診療エックス 線技師	臨床検査 技師	衛生検査 技師	臨床工学士	あん摩マッ サージ指圧師	柔道整復師	管理栄養士
北海道	49.6	6.0	453.7	52.3	391.8	5.9	301.4	52.6	264.2	206.7
札幌	16.9	5.0	270.9	23.4	249.9	3.4	172.7	22.0	196.5	96.8
上川中部	7.2	1.0	26.8	5.0	35.1	0.0	26.8	7.1	12.0	14.5
上川北部	1.0	0.0	6.6	0.0	1.4	1.0	0.0	0.0	3.0	4.3

	栄養士	精神保健 福祉士	社会福祉士	介護福祉士	保育士	その他 技術員	医療社会 事業従事者	事務職員	その他職員
北海道	82.3	97.4	37.9	456.6	47.6	342.2	29.9	6214.3	1548.0
札幌	25.4	66.4	14.0	45.3	33.1	172.1	4.2	3150.6	578.6
上川中部	9.5	2.0	2.0	13.0	0.0	20.5	12.0	440.4	125.9
上川北部	4.0	1.0	1.8	24.1	0.0	5.8	0.0	60.9	12.4

8 介護サービスの状況

(1) 高齢者施設等の状況

上川北部圏域における高齢者施設等の総定員数については、1,482人であり、特別養護老人ホームの圏域全体の総定員数は、606人となっております。

なお、平成27年9月末現在、特別養護老人ホームの圏域全体の「要介護3以上」の待機者数は、389人となっており、うち79人が在宅の方となっております。

図表28 圏域における高齢者施設等の定員数 [平成27年4月1日現在]

	士別市	名寄市	和寒町	剣淵町	下川町	美深町	音威子府村	中川町	合 計
① 特別養護老人ホーム	120	180	100	50	56	50		50	606
※ 特養・入所者待機者数〔要介護3以上〕 (H27年9月末現在)	(99)	(180)	(25)	(14)	(41)	(27)	(0)	(3)	(389)
うち、在宅の方	(24)	(33)	(7)	(4)	(8)	(3)	(0)	(0)	(79)
うち、他施設入所の方	(75)	(147)	(18)	(10)	(33)	(24)	(0)	(3)	(310)
② 介護老人保健施設	149	100							249
③ 介護療養型医療施設						12	8		20
④ 認知症グループホーム	81	54	18	15	18	18		9	213
⑤ 養護老人ホーム	100								100
⑥ 軽費老人ホーム (A型、B型、ケアハウス)		79				50			129
⑦ 有料老人ホーム	88	30			13				131
⑧ サービス付き高齢者向け住宅	34								34
合 計	572	443	118	65	87	130	8	59	1,482

(2) 介護基盤の整備状況

上川北部圏域における介護基盤の整備状況は、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム及び軽費老人ホームは、全道の整備率（定員数／65歳以上人口）と比較すると高く、また介護療養型医療施設、認知症グループホーム、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅は、全道の整備率と比較すると低くなっております。

図表 2 9 圏域における高齢者施設等の定員数及び設置数 [平成27年4月1日現在]

設置種別	圏域	65歳以上人口 (A)	定員数 (B)	整備率 (B)/(A) *100	全道平均との比較	士別市	名寄市	和寒町	剣淵町	下川町	美深町	音威子府村	中川町
① 特別養護老人ホーム	全道	1,513,151	25,397	1.68	↑	3	2	1	1	1	1		1
	上川北部	22,780	606	2.66									
② 介護老人保健施設	全道	1,513,151	16,524	1.09	→	2	1						
	上川北部	22,780	249	1.09									
③ 介護療養型医療施設	全道	1,513,151	4,240	0.28	↓						1	1	
	上川北部	22,780	20	0.09									
④ 認知症グループホーム	全道	1,513,151	15,107	1.00	↓	5	3	1	1	2	1		1
	上川北部	22,780	213	0.94									
⑤ 養護老人ホーム	全道	1,513,151	4,667	0.31	↑	1							
	上川北部	22,780	100	0.44									
⑥ 軽費老人ホーム (A型、B型、ケアハウス)	全道	1,513,151	6,088	0.40	↑		2				1		
	上川北部	22,780	129	0.57									
⑦ 有料老人ホーム	全道	1,513,151	18,367	1.21	↓	5	2			1			
	上川北部	22,780	131	0.58									
⑧ サービス付き高齢者向け住宅	全道	1,513,151	13,298	0.88	↓	1							
	上川北部	22,780	34	0.15									
合計	全道	1,513,151	103,688	6.85	↓								
	上川北部	22,780	1,482	6.51									

第5節 5疾病・5事業の状況

1 5疾病・5事業の圏域及び在宅医療の現状

北海道では、一次医療圏の単位である市町村から構成される二次医療圏が21圏域、複数の二次医療圏から構成される三次医療圏は6圏域があり、5疾病・5事業に関する保健医療体制の整備については、平成25年8月に策定した「北海道医療計画〔改訂版〕」、並びに地域計画として各二次医療圏で策定した「北海道医療計画（改訂）地域推進方針」に、それぞれ項目を定めており、この上川北部圏域である二次医療圏の計画は、「北海道医療計画〔改訂版〕上川北部地域推進方針」となっております。

なお、この策定の際、国の方針で、「在宅医療」の整備についても記載することが求められ、計画の内容は5疾病・5事業に加え、在宅医療の項目が盛り込まれています。現在、これらの計画に基づき、二次医療圏単位で整備を進めるべき事項については、二次医療圏において、広域的な事業の展開や高度専門的な医療施設の整備等が求められる事項については、三次医療圏単位を基本として整備を進めております。

また、上川北部区域における在宅医療は、在宅療養支援医療機関として、1病院4診療所（2市1町）において訪問診療等が実施されています。

- ・ 5疾病とは、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神科疾患
- ・ 5事業とは、救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療
- ＊ 平成25年の改訂から、医療計画に「在宅医療」を追加記載

図表30 5疾病・5事業の圏域

		圏域数 〔全道〕	道北(三次)					
			上川中部	上川北部	富良野	留萌	宗谷	
5 疾 患	がん	6						
	脳卒中	21	■	■	■	■	■	
	急性心筋梗塞	21	■	■	■	■	■	
	糖尿病	21	■	■	■	■	■	
	精神疾患	21	■	■	■	■	■	
	精神科救急	8						
5 事 業	救急医療	二次救急	21	■	■	■	■	■
		三次救急	6					
	災害医療	21	■	■	■	■	■	
	周産期医療	地域周産期センター	21	■	■	■	■	■
		総合周産期センター	6					
	小児医療	専門医療・二次救急	21	■	■	■	■	■
高度専門医療・三次救急		6						

2 指定医療機関等の状況

(1) がん診療連携拠点病院一覧

〔医療機関名公表基準〕

「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」（平成18年2月1日）付健発第0201004号厚生労働省健康局長通知により厚生労働大臣が指定したがん診療連携拠点病院

図表 3 1

〔平成25年1月1日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	地域がん診療連携拠点病院
道北	上川中部	旭川市	旭川医科大学病院
			JA北海道厚生連 旭川厚生病院
市立旭川病院			
	上川北部		—

(2) 北海道がん診療連携指定病院一覧

〔医療機関名公表基準〕

「北海道がん診療連携指定病院整備要綱」（平成24年12月28日）付地保第3277号北海道保健福祉部長通知により北海道知事が指定した病院

図表 3 2

〔平成27年4月1日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	がん診療連携指定病院
道北	上川中部	旭川市	旭川赤十字病院
			独立行政法人国立病院機構 旭川医療センター
	上川北部	名寄市	名寄市立総合病院

(3) 脳卒中の急性期医療を担う医療機関一覧

〔医療機関名公表基準〕

次の①—③が24時間対応可能である病院・診療所

- ① 血液検査及び画像（CT・MRI、超音波検査等）
- ② 開頭手術（脳動脈瘤クリッピング術、脳内血腫除去術、減圧開頭術等）、外科的血行再建術、かつ脳血管内手術
- ③ t-PAによる血栓溶解療法

図表 3 3

〔平成27年7月1日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	医療機関
道北	上川中部	旭川市	旭川医科大学病院
			旭川赤十字病院
			旭川脳神経外科病院
			医療法人社団 杏仁会 大雪病院
	医療法人 元生会 森山病院		
	上川北部	名寄市	名寄市立総合病院

(4) 脳卒中の回復期医療を担う医療機関一覧

[医療機関名公表基準]

次の①及び②の両方を満たす病院・診療所

- ① 脳血管疾患等リハビリテーション科の保険診療に係る届出をしている
- ② 脳卒中の回復期リハビリテーションの対応が可能

図表 3 4

[平成27年 7 月 1 日現在]

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	医 療 機 関
道 北	上川北部	士別市	士別市立病院
		名寄市	医療法人社団 三愛会 名寄三愛病院
			医療法人 臨生会 吉田病院

(5) 急性心筋梗塞の急性期医療を担う医療機関一覧

[医療機関名公表基準]

次の①～③が 2 4 時間対応可能であり、かつ、④または⑤を満たす病院・診療所

- ① 放射線等機器検査（心電図・冠動脈造影等）
- ② 臨床検査（血清マーカー等）
- ③ 経皮的冠動脈形成術の治療
- ④ 冠動脈バイパス術等外科的治療が実施可能
- ⑤ 冠動脈バイパス術等外科的治療は実施しないが、他医療機関への紹介が可能

図表 3 5

[平成27年 7 月 1 日現在]

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	医 療 機 関
道 北	上川中部	旭川市	旭川医科大学病院
			旭川赤十字病院
			市立旭川病院
			JA北海道厚生連 旭川厚生病院
			旭川脳神経外科病院
			医療法人社団 幾見会 木原循環器科内科医院
	上川北部	名寄市	名寄市立総合病院

(6) 糖尿病公表該当医療機関一覧

[医療機関名公表基準]

北海道医療機能情報公表制度に基づく、医療機能情報の報告内容から、次の①から③の項目のいずれかに該当する医療機関

- ① インスリン療法を行うことができること
- ② 糖尿病患者教育(食事療法・運動療法・自己血糖測定)を行うことができること
- ③ 糖尿病による合併症に対する継続的な管理及び指導を行うことができること

図表 3 6

[平成27年 7 月 1 日現在]

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	医療機関名	該当項目		
				①	②	③
道 北	上川北部	士別市	士別市立上士別医院	○	○	○
			士別市立多寄医院	○	○	○
			士別市立あさひクリニック	○	○	○
			船津医院	○	○	
			士別市立病院	○	○	○
		名寄市	名寄市立総合病院	○	○	○
			医療法人社団たに内科クリニック	○	○	○
			名寄市風連国民健康保険診療所	○	○	○
			医療法人社団三愛会 名寄三愛病院	○	○	
		和寒町	国民健康保険町立和寒病院	○	○	○
		剣淵町	国民健康保険剣淵町立診療所	○	○	
		下川町	町立下川病院	○	○	○
			美深町	JA北海道厚生連美深厚生病院	○	○
			瀬尾医院	○	○	○
音威子府村	音威子府村立診療所	○	○	○		

(7) 精神疾患の「予防・アクセス」、「治療・回復・社会復帰」(うつ病を含む)に係る医療機能を担う医療機関一覧

[医療機関名公表基準]

次の基準に該当する医療機関

- ① 有床精神科病院
- ② 精神科デイ・ケア等実施施設
- ③ 往診・訪問看護実施施設

図表 3 7

[平成26年 1 月 1 日現在]

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	医 療 機 関
道 北	上川北部	名寄市	名寄市立総合病院

(8) 精神科救急・身体合併症に係る医療機能を担う医療機関一覧

〔医療機関名公表基準〕

北海道精神科救急医療体制整備事業実施要綱に定める次の医療機関

- ① 精神科救急医療施設
- ② 合併症受入協力病院
- ③ 遠隔地域支援病院
- ④ 後方支援病院

図表 3 8

〔平成26年 1 月 1 日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	医療機関名	該当項目			
				①	②	③	④
道 北	上川北部	士別市	士別市立病院		○		
		名寄市	名寄市立総合病院		○	○	

(9) 児童精神医療に係る医療機能を担う医療機関一覧

〔医療機関名公表基準〕

次の基準に該当する医療機関

- ① 入院医療施設
- ② 児童精神科等標榜施設
- ③ 専門医・認定医等

図表 3 9 - 1 【① 入院医療施設】

〔平成26年 1 月 1 日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	医 療 機 関
道 北	上川北部		—

図表 3 9 - 2 【② 児童精神科等標榜施設】

〔平成26年 1 月 1 日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	医 療 機 関
道 北	上川中部	旭川市	医療法人社団 旭川圭泉会病院
			六条医院
	上川北部		—

図表 3 9 - 3 【③ 専門医・認定医等】

〔平成26年 1 月 1 日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	医 療 機 関
道 北	上川中部	旭川市	市立旭川病院
			旭川医科大学病院
			JA北海道厚生連 旭川厚生病院
			北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター
	上川北部		—

(10) 認知症に係る医療機能を担う医療機関一覧

〔医療機関名公表基準〕

次の基準に該当する医療機関

- ① 認知症疾患医療センター
- ② 鑑別診断実施施設
- ③ 専門医(②を除く)
- ④ 認知症治療病棟を有する医療機関
- ⑤ 重度認知症デイ・ケア実施施設

図表 4 0 - 1 【① 認知症疾患医療センター】

〔平成26年1月1日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	医 療 機 関
道 北	上川中部	旭川市	医療法人社団 旭川圭泉会病院
	上川北部		—

図表 4 0 - 2 【② 鑑別診断実施施設】

〔平成26年1月1日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	医 療 機 関
道 北	上川中部	旭川市	旭川赤十字病院 旭川医科大学病院
	上川北部		—

図表 4 0 - 3 【③ 専門医(②を除く)】

〔平成26年1月1日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	医 療 機 関
道 北	上川中部		—
	上川北部		—

【④ 認知症治療病棟を有する医療機関】

図表 4 0 - 4 〔認知症専門治療病棟入院科届出医療機関〕

〔平成26年1月1日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	医 療 機 関
道 北	上川中部	旭川市	医療法人社団 旭川圭泉会病院
	上川北部		—

図表 4 0 - 5 【⑤ 重度認知症デイ・ケア実施施設】

〔平成26年1月1日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	医 療 機 関
道 北	上川中部	旭川市	医療法人社団 旭川圭泉会病院
	上川北部		—

(11) 二次救急医療機関一覧

〔医療機関名公表基準〕

救急隊により搬送される傷病者に関する医療を担当する医療機関として「救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)」に基づき北海道知事が認定した救急告示医療機関及び休日・夜間に入院を要する重症救急患者に対応する救急医療機関として病院郡輪番制に参加する医療機関

図表 4 1

〔平成27年4月1日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	医療機関		
		救告	輪番	★救急告示、●輪番参加、※診療所
道北	上川北部	★	●	士別市立病院
		★	●	名寄市立総合病院
		★		国民健康保険町立和寒病院
		★		町立下川病院
		★		JA北海道厚生連 美深厚生病院
		★		※音威子府村立診療所
		★		※中川町立診療所
		7	2	〔二次救急医療機関数 7〕

(12) 休日夜間急患センター一覧

〔医療機関名公表基準〕

休日・夜間における比較的軽症な救急患者の医療を確保するため、市町村が設置する休日夜間急患センター

図表 4 2

〔平成26年10月1日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	施設名	診療科目
道北	上川中部	旭川市夜間急病センター	内科・小児科
	上川北部	—	

(13) 救命救急センター一覧

〔医療機関名公表基準〕

原則、重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる三次救急医療機関として北海道知事が指定した救命救急センター

図表 4 3

〔平成28年1月1日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	医療機関名		救命救急センター	指定年月日
				運営病床数	
道北	上川中部	DH	旭川赤十字病院	56床	昭和53年7月10日
			旭川医科大学病院	20床	平成22年10月1日
	上川北部		名寄市立総合病院	12床	平成27年8月1日

DH: ドクターヘリ基地病院

(14) 災害拠点病院一覧

〔医療機関名公表基準〕

災害時における医療の確保及び搬送体制の整備を図るため、北海道知事が災害拠点として指定した病院

図表 4 4 〔基幹災害拠点病院〕

〔平成25年 1 月 1 日現在〕

圏 域	指 定 病 院 名	指 定 年 月 日
全道域	札幌医科大学附属病院	平成 9 年 1 月 7 日

図表 4 5 〔地域災害拠点病院〕

第三次医療圏	第二次医療圏	指 定 病 院 名	指 定 年 月 日
道 北	上川中部	旭川赤十字病院	平成 9 年 1 月 7 日
		旭川医科大学病院	平成23年11月 1 日
	上川北部	名寄市立総合病院	平成 9 年12月25日

(15) 北海道DMAT指定医療機関一覧

〔医療機関名公表基準〕

災害時に迅速に駆けつけ、救急医療活動を行うために専門的な訓練を受けた北海道DMATとして北海道知事が指定した病院

図表 4 6

〔平成26年 4 月 1 日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	指 定 病 院 名	指 定 年 月 日
道 北	上川中部	旭川医科大学病院	平成19年 9月12日
		旭川赤十字病院	平成23年 6月30日
	上川北部	名寄市立総合病院	平成26年 3月26日

(16) へき地医療拠点病院及びへき地診療所等一覧

図表 4 7 - 1

〔平成27年 9 月 1 日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	へき地医療拠点病院	
道 北	上川北部	名寄市立総合病院	

図表 4 7 - 2

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	へき地診療所(国保直営診療所を含む)
道 北	上川北部	剣淵町	国民健康保険 剣淵町立診療所
		美深町	美深町恩根内診療所
		音威子府村	音威子府村立診療所
		中川町	中川町立診療所

図表 4 7 - 3

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	過疎地域等特定診療所
道 北	上川北部	中川町	中川町立歯科診療所

図表 4 7 - 4

第三次医療圏	第二次医療圏	無医地区等 (H21. 10)	無歯科医地区等 (H21. 10)
道 北	上川北部	4 市町 9 地区	2 市町 4 地区

(17) 周産期母子医療センター一覧

高度な周産期医療を行う医療機関として北海道知事が指定又は認定した周産期母子医療センター

図表 4 8

[平成26年 4 月 1 日現在]

第三次医療圏	第二次医療圏	医 療 機 関 名	区分	【指定年月日】 (認定年月日)
道 北	上川中部	JA北海道厚生連 旭川厚生病院	総合	【平成13年10月 1日】
		旭川赤十字病院	地域	(平成13年10月 1日)
		旭川医科大学病院	地域	(平成23年 3月30日)
	上川北部	名寄市立総合病院	地域	(平成13年10月 1日)

(18) 産科又は産婦人科を標榜する医療機関一覧

図表 4 9

[平成26年 9 月 1 日現在]

第三次医療圏	第二次医療圏	保健所	医 療 機 関 名	
道 北	上川北部	名 寄	●	名寄市立総合病院

●分娩実施中の医療機関

(19) 助産師外来・院内助産所開設医療機関一覧

図表 5 0

[平成26年 9 月 1 日現在]

第三次医療圏	第二次医療圏	市町村	医 療 機 関
道 北	上川北部		—

(20) 小児救急医療支援事業産科病院一覧(小児二次救急医療体制)

[医療機関名公表基準]

休日・夜間に入院を要する小児の重症救急患者に対する救急医療機関として小児救急医療支援事業(病院群輪番制)に参加する病院

図表 5 1

[平成27年 4 月 1 日現在]

第三次医療圏	第二次医療圏	小児救急医療支援事業実施状況		
		事業開始	病院数	参加病院名
道 北	上川北部	平成18年 1 月	1	名寄市立総合病院

(21) 小児科医療の重点化病院一覧

図表 5 2

〔平成25年1月31日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	重点化病院名
道北	上川北部	名寄市立総合病院

(22) 小児科又は小児外科を標榜する医療機関一覧

図表 5 3 - 1

〔平成24年10月1日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	保健所	病院名
道北	上川北部	名寄	名寄市立総合病院
			士別市立病院
			町立下川病院
			国民健康保険 町立和寒病院
			JA北海道厚生連 美深厚生病院

図表 5 3 - 2

〔平成24年10月1日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	保健所	有床診療所
道北	上川北部	名寄	音威子府村立診療所
			中川町立診療所

図表 5 3 - 3

〔平成24年10月1日現在〕

第三次医療圏	第二次医療圏	保健所	無床診療所
道北	上川北部	名寄	医療法人社団 岡崎内科
			名寄市立大学保健福祉センター
			士別市立上士別医院
			士別市立多寄医院
			医療法人社団 松塚医院
			医療法人社団 寺田医院
			船津医院
			医療法人社団 野々瀬内科小児科クリニック
			国民健康保険 剣淵町立診療所
			瀬尾医院
			和寒町子育て支援センターこども館

(23) 在宅療養支援病院及び在宅療養支援診療所一覧

[医療機関名公表基準]

診療報酬上の在宅療養支援病院及び在宅療養支援診療所

図表 5 4

[平成24年10月1日現在]

第三次医療圏	第二次医療圏	保健所	病 院	診療所
道 北	上川北部	士 別	士別市立病院	士別市あさひクリニック
				しべつ内科クリニック
		名 寄		名寄市風連国民健康保険診療所
		中 川		中川町立診療所